

令和6年10月21日

府内初！AR技術を活用した防災訓練機器を導入

市消防本部は本年度、AR（拡張現実）技術を活用した防災訓練機器を導入する。機器の納品は10月30日。今後、出前講座や自治会等で行う防災訓練などで活用する。報道機関へは後日、説明会を行う予定にしている。説明会は、日程が決定し次第お知らせする。

本事業は、綾部市デジタル戦略推進本部会議での決定に基づき行うもの。DX推進のための取り組みとして、今年度は透明ディスプレイや子育て支援アプリの導入などを行ったほか、さらに健康サポートアプリの導入や就職情報を一元化したウェブサイトの構築などを進めている。

<機器の概要>

1 目的

事業所、自治会等に出向いて実施する防災訓練や防火講習会において、従来の訓練用消火器を使用する形態からAR技術を用いた訓練を導入することで、現実に近い体験をしてもらい、市民の消火能力、判断力及び対応力を向上させ、防火防災意識の醸成へつなげる。

2 仕様

- ・専用ゴーグルを装着し、AR（拡張現実）を活用することで、現実の職場等を火災発生現場と想定したリアリティーのある消火体験ができる
- ・消火体験は、連動する専用コントローラーで行う。体験者に見える画像は、外部モニターに同時に中継できる
- ・火災発生時に煙が充満していく様子が再現され、避難訓練も実施可能

3 導入機器

- ・ARヘッドセット1台
- ・消火器型コントローラー1個
- ・モニタディスプレイ1台
- ・その他周辺機器一式

4 導入金額

1,496,000円

5 導入業者

大槻ポンプ工業株式会社

6 運用方法

市内の事業所、自治会、学校等が行う訓練指導、講習会等で活用。
機器のみの貸し出しは行わない。

<問い合わせ>

消防本部予防課 課長 湊秀明 電話0773(42)0119

